

校種	所 属 (市町)	職 名	氏 名	性別	年齢	功績概要・その他の役職・賞罰
高等学校	学校法人早鞆学園 早鞆高等学校 (下関市)	理事長	ふるた けいいち 古田 圭一	男	64	<p>平成9年から早鞆学園に奉職。以来、25年余にわたって私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>古田氏が理事長に就任した当時は、校舎の大半が昭和40年代の建築で、現在の耐震基準を満たしておらず校舎の耐震化が大きな課題であった。同氏は、生徒・教職員の安心安全を最優先課題として耐震化に取り組み、厳しい経営状況の中、平成13年～令和2年度にかけて全校的に建物の耐震化を推進した。</p> <p>また、同校は県内最多の生徒を有する学校であるが、魅力ある学校づくりにも積極的に取り組み、平成11年の菁菁館特別進学コースの改組(国公立大学、難関私立大学合格を目指す)をはじめ、平成13年の家庭科、商業科の名称変更、平成15年の全学科・コースの男女共学化、平成29年の下関理容美容専門学校と連携した県下初の高等学校美容師・理容師養成コースである普通科ビューティーコースの設置など、進学や資格・技術(美容師・理容師、自動車整備士、准看護師、調理、被服)を身につけたい生徒の「夢」の実現のため、多様な学科の改編を実施してきたが、同氏はその陣頭指揮をとって生徒や保護者のニーズに応えてきた。</p> <p>吹奏楽や柔道など部活動も活発で、平成23年には野球部が春の選抜高校野球(甲子園)に出場している。また、平成14年には中国北京市平谷中学と姉妹校結縁締結を行い、平成15年度から留学生を短期的に受け入れるなど国際化の試みにも挑戦した。</p> <p>平成26年には、校舎の一部に太陽光パネルを設置し、収益事業として中国電力に売電を行うなど、経営の安定化にも努めている。</p> <p>一方で、同氏は、平成26年から県内の全ての私立中学高等学校(20校)で組織される山口県私立中学高等学校協会の会長として8年間にわたり、協会を牽引し、山口県の私学の振興に尽力している。</p> <p>さらに、同年には、国会議員に当選し、国政の場(文部科学委員会等)において日本の私学の振興発展のため、現場の実情を踏まえた提言を行うなど教育の発展のために貢献した。</p>
	学校法人長門高等学校 長門高等学校 (長門市)	教 頭	よしだ えいじろう 吉田 栄次郎	男	61	<p>昭和59年から長門高等学校に奉職。以来、38年余にわたって私学教育の振興に尽力してきた。</p> <p>長門高等学校は、県北部における私学の高校教育の一翼を担う学校であるが、吉田氏は地域に不登校生が増加してきたこと、また当該地域に通信制課程を有する高校がないことから通信制課程の設置を進言した。理事長の命により、平成18年から設置に向けて取りかかることになったが、同氏は通信制課程の県への設置申請や学校内の調整役として中心的な役割を担った。</p> <p>通信制課程は平成19年10月に設置されたが、同氏は設置後においても教務部長としてカリキュラムをはじめ、入試から卒業までのシステムを構築するなど今日の通信制の礎を築き、通信制の運営に深く関わり、地域の通信制課程を希望する多くの生徒に勉学の機会を与えた。(令和4年3月現在:卒業生200名)</p> <p>また、同氏は大変な読書家・勉強家であり、大学を卒業後、通信教育で、社会福祉学や東アジア研究、法学を他大学・大学院で学び続け、福祉に関する研究を論文にまとめるとともに、さまざまな大会や講演会、研究会に参加し、金融教育や福祉に関する研究を発表し、その成果を地域に還元している。</p> <p>こうした同氏の取組は生徒により刺激を与えているとともに、長門高校の福祉教育にも生かされ、平成10年～平成25年にかけて開設されたホームヘルパー2級課程養成研修講座の責任者として、県への申請、介護施設との実習計画の交渉などを担い、400名の資格取得者を養成し、卒業生の進路先の拡充に貢献した。</p> <p>また、オープンスクールの企画・開催や文部科学省指定特別支援研究指定校(平成21年～22年度)の責任者としても活躍し、同校の特色ある学校づくりに、教諭として、また教頭として、理事長(校長)をよく支え、今日の長門高校の評価を高らしめた功績には大きなものがある。</p>